



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月5日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <https://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3403

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	50,464	10.9	5,987	25.4	5,999	26.8	4,303	27.3
2024年3月期第1四半期	45,495	10.1	4,775	16.1	4,730	22.0	3,379	23.8

(注)包括利益 2025年3月期第1四半期 5,635百万円 (27.8%) 2024年3月期第1四半期 4,409百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	43.80	
2024年3月期第1四半期	34.40	

1株当たり四半期純利益は、株式給付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	125,107	79,349	63.3
2024年3月期	120,727	79,346	65.6

(参考)自己資本 2025年3月期第1四半期 79,169百万円 2024年3月期 79,180百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		57.00	57.00
2025年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当37円00銭 記念配当20円00銭

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	93,000	5.2	9,100	6.0	9,000	5.5	6,400	2.8	65.13
通期	196,600	4.9	18,300	6.4	18,000	5.3	12,700	4.1	129.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	101,774,700 株	2024年3月期	101,774,700 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,515,674 株	2024年3月期	3,515,671 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	98,259,027 株	2024年3月期1Q	98,259,029 株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2024年3月期546,100株、2025年3月期1Q546,100株含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2024年3月期1Q546,100株、2025年3月期1Q546,100株含まれております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <連結経営成績の概要>

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人旅行者数が過去最高水準で推移する等、明るい兆しの一部で見られるものの、過度な円安の定着や物価上昇に伴う生活コストの上昇等が足元及び今後の経済情勢の見通しの不透明感を引き続き高めており、また、実質賃金のマイナス基調が2年以上継続する等、予断を許さない状況が継続しております。海外においても、インフレ動向が一時期よりは改善に向かっているものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化に伴う将来見通しの不透明感の継続や欧米各国の選挙動向に伴う混乱、金融引き締めによる金利上昇等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン市場は、2021年3月期以降大きなマイナス基調で推移し、出荷台数ベースでの市場規模が当時より半減する等、非常に厳しい状況が継続しておりましたが、当第1四半期連結累計期間における出荷台数は前年同期比で7.9%の増加となる等、ようやく下げ止まり感が鮮明となってまいりました。また、円安傾向の継続等に伴うパソコン製造に係る原材料・部材価格の高止まりの影響も受けた結果、出荷金額は11.2%増加となる等、価格面でも前年度を上回りました。

また、当社グループが事業展開を行う欧州各国及び東南アジア各国においては、主要国における選挙の動向やロシア・ウクライナ問題の長期化に加え、先行き不透明感から現地企業による設備投資や個人が消費を控える動きが続いており、前年度と同様に予断を許さない状況が継続しております。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は50,464百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は5,987百万円（同25.4%増）、経常利益は5,999百万円（同26.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,303百万円（同27.3%増）となり、増収増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において保有資産の売却を実施しており、一時的な収益が発生しております。当該資産売却の影響を除く実質ベースの数値でも前年同期比増収増益であり、また営業利益は第1四半期連結累計期間としての過去最高を更新しております。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### ① パソコン関連事業

一般用途向けの普及モデルパソコン、高付加価値・特化型製品であるクリエイター向けパソコンやゲーミングパソコン等のBTO（受注生産）パソコン及び完成品パソコンの製造・販売、並びに「iiyama」ブランドによる汎用、デジタルサイネージ、タッチパネルの欧州におけるモニタ販売を中心に、コロナ禍以降において変化しつつあるマーケットニーズを的確に汲み取り、新製品・新サービスの投入を行うことで、積極的に事業を展開してまいりました。

国内パソコン関連事業におきましては、需要の回復が見られる一方で、過度な円安に伴う調達価格の高騰が継続する中、利益確保を優先しつつ特に需要の高い製品セグメントに注力した製品展開及び営業施策を展開した結果、マウスコンピューターについては増収となったものの、事業全体としては引き続き前年同期比減収基調での推移となりました。また、調達価格の高騰に加え、Web広告等の広告宣伝活動を積極展開したこと等により、利益面でも前年同期比減益となりましたが、利益水準は期初予想を上回り推移しております。

海外パソコン関連事業におきましては、欧州及び東南アジアにおける事業環境は引き続き不透明な状況が継続しているものの、現地におけるニーズに迅速に対応した製品・サービス投入等を行った結果、欧州モニタ事業、東南アジア事業共に前年同期比で増収増益基調が継続となる等、期初予想も上回り順調に推移しております。

以上の結果、当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は48,951百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は5,859百万円（同24.1%増）となりました。

なお、保有資産売却の影響を除く実質ベースにおいても、売上高は47,247百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は5,179百万円（同9.7%増）であり、前年同期比増収増益を継続しております。

#### ② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営や「MIRA fitness」ブランドによる24時間フィットネスジムの運営等を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、引き続き主力事業である複合カフェ事業及びフィットネスジム事業が好調に推移するなか、コロナ禍において実施した各種コストカット施策等の構造改革の効果や、積極的な営業施策の結果、当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は1,515百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は192百万円（同60.3%増）となり、前年度に引き続き堅調に推移しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は125,107百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,379百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金や棚卸資産が増加したこと等によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は45,757百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,375百万円の増加となりました。これは主に、契約負債が減少したものの、買掛金や借入金が増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は79,349百万円となり、前連結会計年度末と比べて3百万円の増加となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、予想される市場動向や営業の状況、パソコン製造に係る原材料・部材調達に係る不透明感等の影響を加味して、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値に対し、概ね順調に進捗しており、業績予想の修正を必要としない範囲で推移しております。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

当社グループは、2022年5月13日に2025年3月期を最終年度とする中期経営計画を公表いたしました。当該中期経営計画において、2022年3月期に増収の一方で減益となった既存事業の収益立て直しへの注力、また事業の更なる拡大を見据えた成長基盤の整備、並びに新たな収益の柱を構築するべく既存事業関連及び新規事業の両分野におけるM&Aやアライアンスを積極的に模索するという、3つの成長戦略の方向性を掲げており、中期経営計画2年目である2024年3月期には各利益が過去最高を更新いたしました。今期においても期初予想通り過去最高益の更新を目指してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,522	52,948
受取手形及び売掛金	22,814	21,236
商品及び製品	21,032	21,663
仕掛品	321	266
原材料及び貯蔵品	9,311	10,918
その他	4,067	3,648
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	106,046	110,655
固定資産		
有形固定資産	9,200	9,098
無形固定資産		
のれん	288	281
その他	1,093	1,098
無形固定資産合計	1,381	1,379
投資その他の資産		
その他	4,151	4,024
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	4,099	3,973
固定資産合計	14,681	14,452
資産合計	120,727	125,107
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,537	14,445
短期借入金	8,436	9,128
未払法人税等	1,749	2,214
契約負債	3,220	2,822
製品保証引当金	1,234	1,331
その他の引当金	424	427
その他	6,179	6,444
流動負債合計	32,782	36,814
固定負債		
長期借入金	6,535	6,824
退職給付に係る負債	328	330
役員株式給付引当金	251	251
その他	1,482	1,535
固定負債合計	8,599	8,942
負債合計	41,381	45,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,868	3,868
資本剰余金	9,333	9,333
利益剰余金	60,941	59,612
自己株式	△830	△830
株主資本合計	73,312	71,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	30
為替換算調整勘定	5,820	7,138
退職給付に係る調整累計額	17	16
その他の包括利益累計額合計	5,868	7,185
非支配株主持分	165	180
純資産合計	79,346	79,349
負債純資産合計	120,727	125,107

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	45,495	50,464
売上原価	33,795	37,048
売上総利益	11,699	13,416
販売費及び一般管理費	6,924	7,428
営業利益	4,775	5,987
営業外収益		
受取利息	99	260
負ののれん償却額	4	4
受取手数料	15	9
投資有価証券評価益	-	2
その他	22	14
営業外収益合計	142	291
営業外費用		
支払利息	19	97
為替差損	128	160
支払手数料	10	12
その他	27	9
営業外費用合計	186	279
経常利益	4,730	5,999
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事務所移転費用	-	5
事務所撤退費用	6	-
特別損失合計	6	5
税金等調整前四半期純利益	4,726	5,996
法人税、住民税及び事業税	1,227	1,563
法人税等調整額	80	123
法人税等合計	1,307	1,686
四半期純利益	3,418	4,310
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,379	4,303



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,418	4,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	-
為替換算調整勘定	963	1,327
退職給付に係る調整額	△1	△1
その他の包括利益合計	990	1,325
四半期包括利益	4,409	5,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,353	5,620
非支配株主に係る四半期包括利益	55	15

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	44,162	1,332	45,495	—	45,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	△3	—
計	44,165	1,332	45,498	△3	45,495
セグメント利益	4,721	120	4,842	△66	4,775

(注) 1. セグメント利益の調整額△66百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△248百万円、セグメント間取引消去等181百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	48,948	1,515	50,464	—	50,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	△3	—
計	48,951	1,515	50,467	△3	50,464
セグメント利益	5,859	192	6,052	△64	5,987

(注) 1. セグメント利益の調整額△64百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△258百万円、セグメント間取引消去等194百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	259百万円	305百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円
負ののれんの償却額	△4百万円	△4百万円